



# かがやき自立活動通信

No.21

平成27年4月8日

草加かがやき特別支援学校 自立活動専任



## ご入学・進級おめでとうございます！



### 特集 「学校生活を応援しましょう！」

新学期がスタートしました。お子さんはどのように今日の日を迎えたでしょうか？

教室が変わる・担任が違う・クラスの友だちが違う…子どもの中には、今までとの変化に着いて来られず強く不安を感じることもあります。期待しながら明日も楽しく学校に行きたい、そういう子どもたちの願いを支えるために、まわりの大人(支援者)が応援をして行きましょう。

#### 不安を感じる原因はどんなところにあるの？

- ・ 教室内の環境の意味がわかりにくい。(ここは何をすところ？ この人たち、誰？)
- ・ 先生の言っている内容がわからない。
- ・ 苦手な刺激がある。

#### 不安はどんな形で表現されるの？

- ・ 言葉で伝えることができる子どもの中には「明日、学校行くのイヤだな」「今度のクラスはつまらないな」と言ったりします。
- ・ 落ち着きがなくなります。独り言が増えたりします。
- ・ 自己刺激行動やこだわりが強くなったりします。
- ・ パニックや自傷・他害行為が増えることがあります。
- ・ 泣いたり、夜ぐっすり眠れなくなったり、起床がすっきりしなかったり、食事の量が減ったり、お腹を壊したりすることがあります。
- ・ 急に強く抱きついてきたり、しつこく甘えてくるようなことをすることがあります。

#### どうすれば不安を軽減することができるの？

- ・ 子どもの不安の原因を理解することが第1です。不安になるような刺激を取り除いたり、安心できるような声かけをします。
- ・ 笑顔で接します。子どもに積極的に声をかけます。声の大きさ・高さなどは、子どもの表情を見て調整します。
- ・ わかりやすく子どもに伝えます。
  - \* 子どもは、相手とコミュニケーションを取りながら理解したり、状況を読み取って理解することが苦手なので、その部分をいろいろな方法で補っていきます。
  - \* 有効なのは視覚支援です。言葉だけでなく黒板に書く、配付物にルビを振る、写真カードを見せる、スケジュールを提示する、などいろいろな方法があります。

- \* ゆっくり話す、易しい言葉を使う、具体的に伝える、短い文で伝える、理解を確認しながら話す、などの方法があります。
- \* 教室などの一斉指導では理解できない子どもには、個別に補足説明をします。
- ・ 答えやすい質問をします。「いつ?」「誰が?」「何を?」などではなく、Yes/Noで簡単に答えられる質問の形に変えます。
- ・ 否定的な言葉を使わないように注意します。
  - \* 「そうじゃなくて…」という何気ない一言が、不安であふれそうだった子どもの心を壊す最後の1滴になってしまうこともあります。まずは「あー、そう思ったんだね。なるほどー。」と先に共感をしてから、「こうやってみるともっといいかも!」と提案するようなかかわりを行うとうまく行くことがあります。
  - \* 否定的な言葉を肯定的な言葉に代えるのは、こちらのサイトを参考にしてみてください。 <発達障害の子供への『声掛け変換表』が発達障害の子どものみならず、子育てに使えるとネットで話題に <http://buzzjp.com/article/989?twitter=1>>
- ・ 支援者の間でかかわりがぶれないように連携を取ります。「家では禁止されていたことが、学校ではOK」ということがあると、子どもは混乱します。
- ・ 自由時間は何をしてもよいのかわからず、かえって不安になる子どもがいます。困っているようだったら「○○しない?」と誘ってみます。
- ・ 保護者や前年度の担任からの引継ぎを丁寧に行います。やり方にこだわりを持つ子どもの場合は、その方法で大きな問題がなければ、そのやり方で行うようにします。無理にやり方や順番を変えようとする、できることもできなくなってしまうことがあります。

## 支援者はあわてない

「今日は学校で何が楽しかったの?」と聞いても、なかなか答えてくれないかもしれません。保護者は不安を感じることでしょう。子どもはたくさんあった楽しかったことの中から、何を一番最初に伝えればよいかを考えているだけなのかもしれません。「学校は楽しかった? そう、楽しかったのね。それだけが聞ければ安心!」で十分ではないですか? 「今度、また、学校のこと教えてね」と次回につなげます。

子どもが不安そうな時は、あれこれ想像してもあまりいい方向に進まないことがあります。支援者同士が情報交換をし対応をしていきます。「1年前もそうだったなあ～。あの時は1ヶ月くらいよく泣いていたっけ。今年はどうだろう?」と支援者の不安を見せないことも大切です。支援者のあわてた様子を子どもに見せずに、それでいて、迅速な対応を取ることが必要です。



## 自立ノート



今年の自立活動専任の紹介です。写真左より、佐野麻由子、篠原弥生、荻田慎嗣です。今年度は新しいメンバーを迎え、若返りました!

今までの自立活動室1が教室になったので、今年度はかがやきルームでの活動が中心になります。

1年間よろしくお願ひします。